

第1回包括的HIVカウンセリング研修会 プログラム

主催：広島県臨床心理士

会

【目的】本ブロック内においてHIV医療機関においてHIV医療チームを構成する医師、看護師、薬剤師、心理職、福祉職、派遣カウンセラー等がチーム単位で参加し、感染者患者等への心理社会的支援のあり方を包括的HIVカウンセリングの観点から検討し、各チームの更なるレベルアップをめざす。第1回目は、中核拠点病院（指定予定も含む）のチームを対象とした研修を行う。

【日時】平成20年3月15日（土）13時～16日（日）12時半

【研修宿泊会場】 ホテル八丁堀シャンテ（広島市中区八丁堀8-28）

【経費】参加者の旅費及び研修費等は、本事業費により負担。

【日程】

<3月15日> 会場 2階パール（両日とも）

13：00 開会のあいさつ 広島県臨床心理士会担当幹事 内野悌司さん

13：10 事務連絡（事務局 兒玉憲一さん・栗田智未さん）

13：20 講義「HIV医療の最近の話題」

講師 高田 昇さん（広島大学病院輸血部長，エイズ医療対策室長）

座長 藤井輝久さん

14：20～14：30 休憩

14：30 症例報告・討議「本院における包括的HIVカウンセリングの経験」

ゲストコメンテーター 織田幸子さん（大阪医療センター コーディネーター）

座長 高田さん・兒玉さん

17：30～17：40 休憩

17：40 ロールプレイに関する打ち合せ

座長 内野さん・兒玉さん

18：30～19：00 休憩

19：00 夕食を兼ねた懇親会 会場3階メイプル

司会 喜花伸子さん・大下由美さん

20：30 1日目終了

<3月16日>

7：00～ 朝食 1階 レストラン

9：00～ ロールプレイによるワークショップ「わがチームの特徴を理解しよう」

ゲストコメンテーター 織田幸子さん

ファシリテーター 内野さん・兒玉さん

12：00 閉会の挨拶 高田さん

解散

第1回包括的HIVカウンセリング研修会

短文アンケートの結果

■後日、感想を短文で回答するアンケートを郵送法で回収しました。43名の参加者のうち34名（回収率79.1%）から回答を得ました。

1 回答者の属性

① 性別：男14名 女18名 不明2名

② 職種：

医師8名 看護師9名 薬剤師6名 福祉職5名 心理職5名 その他1名

③ HIV感染者患者担当経験

あり26名 なし8名

④ 研修会での立場

講師2名 協力スタッフ7名 受講生23名 事務局2名

（以下、医師はD, 看護師はN, 薬剤師はP, 福祉職・心理職はC, その他は他と略す。）

2 1日目の「講演」について（職種別、順不同）

- ・ 知識が整理できました。D-1
- ・ 新しい抗HIV薬などについて知ることができ有益であった。D-2
- ・ 参考になりました。（初めの方は少し眠たくなった）D-3
- ・ 最新の情報が得られて良かった。D-4
- ・ 全職種にとってわかりやすい話だったかわからない・・・が内容は適切だったと思う。D-5
- ・ 治療の長い人、新規の人でずいぶん違った経過になっている。やはり25年の歴史があるなど改めて感じました。淡々とした話しの中に朝4時までの熱意を感じました。D-6
- ・ 医師、看護師、薬剤師以外には、少し難しい内容だった。D-7
- ・ HIVの最新情報を含んだレクチャーでわかりやすかったです。D-8
- ・ HIV医療の現状や動向、研修会の現状などとても興味深い内容でした。薬物血中濃度の話は印象に残りました。N-1
- ・ わかりやすかった。N-2
- ・ 初めてHIV関連の研修に参加した人には適切な内容だと思うが、ベテランの参加者にはやや退屈な内容かも・・・と思った。N-3
- ・ 薬剤についての知識不足（副作用など）があり少し難しい感じを受けました。N-4
- ・ HIV医療の最近の話題、治療開始のタイミングがCD4が下がる前にと変化している。当院は中断の方がいないので薬の耐性が野生型に戻るというのが興味深かった。N-5
- ・ 最近のHIV患者の現状と治療の傾向が良く理解できました。N-6
- ・ 最新の動向はいつも言われていることですが日本の状況があまり変化なく右肩

上がりが続いていること、その対策がおいつかないこと、実数が少ないので切迫感がないのでしょう。N-7

- ・ 新薬の発売がせまっているのはうれしいですが、在庫はどうするのかというきびしい質問が出てきたことに考えさせられました。N-8
- ・ 最近の状況がわかりやすく表示されていた。N-9
- ・ 自分が薬剤師なので、患者のバックグラウンド（他の疾患、職業など）による薬の使い分け、おすすめの処方等をもっと聞きたかったかな？と思います。P-1
- ・ 医療職にとっては、少しもの足りないが心理 etc の方達には良かったかも。P-2
- ・ わかりやすかったです。P-3
- ・ 講演内容は HIV を担当していない私でも理解することができ非常にわかりやすい内容でした。P-4
- ・ HIV に関する情報が日々新たになっていることがわかります。研修会の都度、最近の情報をお願いします。P-5
- ・ たくさんの情報内容を短時間でわかりやすくまとめて頂きました。自分の中での知識の確認、整理に役立ちました。P-6
- ・ タイムリーな話題も多く、研修会の導入に大変適していた。W-1
- ・ 最近の動向が分かって良かったです。ウィルスが感染していく様子の VTR と薬の関連も分かりやすかったです。～阻害剤がどの時点で効くのか理解できた気がします。W-2
- ・ HIV 医療の治療等の開発により治療継続が出来ていることがわかった。W-3
- ・ 多岐に渡る内容で幅広い知識が学べた。新薬や診療報酬改訂などの最新情報があってもよかった。W-4
- ・ 医療的なことだけでなく「チーム」に関する講義内容等を入れてもいいのでは？集団をどうつくるかとか・・・。W-5
- ・ 心理職にとっては難しい内容だったように思います。G-1
- ・ 治療に関するこれまでの歴史と、現在の動向が分かりやすく説明され良かった。G-2
- ・ 初心者の私にも分かりやすい内容でした。G-3
- ・ 症例やデータが豊富で具体的で分かりやすかった。G-4
- ・ 初心者とベテランの双方を満足させるのに苦労されているのがよく分かった。G-5
- ・ 高田先生の最新情報は必ずあった方がいいと思います。他—1

3 1日目の「症例報告・討議」について（職種別、順不同）

- ・ 思った以上にヘビーでした。その分勉強になりました。D-1
- ・ それぞれに異なった問題点をもつ症例について討議でき、今後の我々の HIV 診療にとって大変有意義であった。D-2
- ・ とても有意義でした。むずかしさ、チームでの意見交換の必要性を感じました。D-3

- ・ 症例数が多すぎた。D-4
- ・ 医師の本業は診断と治療であり、これを外れると右往左往してしまう。コメントが出せなくて困った。D-5
- ・ 問題症例ばかりで疲れました。チームの大切さ、苦しい努力を認め、分かち合った経験。次から頑張ろう・・・という気持ちになりました。D-6
- ・ 疲れました。D-7
- ・ HIV 陽性の妊娠出産症例は初めて報告を聞き外国人への対応など含めて勉強になりました。D-8
- ・ 症例を通じて患者様が抱える心理・社会的問題が多岐にわたっていることを実感しました。患者様を支援する際にそれぞれの役割をもったチームの関わりの力はすごいと思いました。N-1
- ・ 自分のこととして考えられて有意義だった。N-2
- ・ 職種別で分かれて討議できたのが大変良かった。自分の専門性とは何か役割は何かは明確になったと思う。N-3
- ・ 他施設でのとりくみ一つ一つが参考になり、どの施設に於いても共感できる部分もあり、遅れているところは頑張ろうという「力」になりました。N-4
- ・ 色々なアドバイスがありそれぞれの職種の力が発揮できている事を感じた。各病院様々な症例があり今後とも参考にしたい。N-5
- ・ HIV 患者への心理、社会的支援の必要性を認識しました。症例報告ということで問題を身近に感じました。N-6
- ・ 発表担当で緊張したが同じ目的で集まった仲間という感じでした。いろいろな助言が実際の看護に役立つので研修に参加できて良かったです。N-7
- ・ どの症例も専門スタッフがいるわけでもなく皆さん兼任でよく活動されているなと思いました。N-8
- ・ わかりやすくプレゼンテーションするのは難しかったが職種間での討議アドバイスはとても参考になる。N-9
- ・ ヘビーな症例が多かったが、各職種の視点のちがいが出て、とてもおもしろかった。症例が多角的に検討できたと思う。P-1
- ・ 薬剤師研修では、一つの症例を深く検討することが出来ないのこのようにディスカッションできて良かった。P-2
- ・ 多職種のそれぞれの立場での意見がきけて良かったと思います。P-3
- ・ 非常に難しかったです。でも、実際の症例を通じて良い経験となりました。P-4
- ・ 報告が十分できなかった点反省しています。症例の提示であることは承知していますが報告者との間で討議にはなってなくて指摘になっている点が気になります。P-5
- ・ 他の病院の症例を共有することで非常に勉強になりました。P-6
- ・ 各病院での取り組みの様子や各々が抱えている事例がよくわかり、またそれを討議することで、色々な考え方を聞くことができて大変良かった。W-1
- ・ 難しい症例を提示された HP の Dr が「ストレスを感じている」と言われ、こういう研修で他の HP と共有、意見が出ることで又頑張ろうという気持ちになるので

良いと思います。ピアカウンセリングの一種？W-2

- ・ 準備段階（報告の為の）からケース検討ができてよかったと思います。職種毎の討議は同じ視点でケース把握されるので共感と理解しやすかった。W-3
- ・ 同職種同志の検討で話しやすかった。心理と福祉が別々の方がより深い検討ができたと思うが、同じ場で検討したことで意見交換ができたことは有意義だった。W-4
- ・ 各病院ごとの発表で、チームの特徴がみえておもしろかった。各職種それぞれの力とチームとしての力と別のレベルで強化することが必要と思った。W-5
- ・ 討議の時間があつという間だった。勉強になる症例だったのでいろいろ話し合いたかったけれど、仕方ないですね。G-1
- ・ 一つ一つの症例が濃くて、もう少し時間をかけて検討したいこともたくさんあった。頭がいっぱいになって、最後の方は思考力が低下していた。けれど、とてもためになった。G-2
- ・ ただただ圧倒されました。各機関の取組みを知ることができてとても勉強になりました。G-3
- ・ 興味深かった。こまめに休憩を入れたので、それほど疲れは感じなかった。G-4
- ・ 4症例はやや多すぎた。ただ、連携に焦点を当てた報告、討議は有意義だった。来年もこの形式を続けたい。G-5
- ・ 当初とは変わってきているとも感じましたが、ショックも受けました。しかし、そこの現状を正直に出される場は必要で、そうありつづけなくてはいけないと思います。他-1

4 2日目の「ロールプレイ・討議」について（職種別，順不同）

- ・ 医師役+患者役のロールプレイを期待していました。1日目は同職の討議、2日目は異職の討議がいいと思います。D-1
- ・ 自分達の施設におけるHIV診療の問題点が明らかになり、今後の診療体制の再構築に生かしたい。D-2
- ・ 1日目同様有意義でした。ただロールプレイにする必要はないのでは？D-3
- ・ ロールプレイは所用時間が多いわりに、得られるものが少ないと感じた。D-4
- ・ これに、simulated patientを加えたら、もっと大変なことになったでしょう。よかったと思います。（前日「どうなるか」と思っただけに）D-5
- ・ 何かもう一工夫が必要なように感じましたが・・・何なのでしょうね・・・織田さんのコメントは的確で納得できました。D-6
- ・ カンファレンスの内容だったので気軽にできた半面、ロールプレイする意味があるかどうか疑問だった。D-7
- ・ ロールプレイにすることの意義が今ひとつはっきりしませんでした。多職種のコメントも多く興味深い発表形式でした。D-8
- ・ ロールプレイというところはあまり関係がなく討議が中心のような気がしました。ロールプレイの目的のようなものが少しわかりにくかったです。経験のない病院ではカンファレンスのデモストができたという点では良かったです。N-1

- ・ 実際にやってみて症例のむずかしさがわかった。N-2
- ・ ミーティングをやっていない病院が多い中、ミーティングをロールプレイでやるというのは大変良かったと思う。N-3
- ・ ロールプレイをすることで他職種の人と関わり肩の力がぬけ、共働き情報を連携する事の効果を体験できた。N-4
- ・ 場面設定、人物も担当の方ではないところがあったが、もし当院での例だったらと、初めてのケース、チーム医療の想定ができた。N-5
- ・ 自施設の職種間連携の必要性と課題を明確にすることができました。N-6
- ・ 題目に直ちに対応してロールプレイができる皆さんに感心したと同時に「あっ！」あんな風にしたらいいんだ、と悩みが少しずつ薄らぐのを感じました。N-7
- ・ 患者の役を担当する人がいなかったのも本当の意味でのロールプレイはできなかったと思います。N-8
- ・ ロールプレイする側は大変だったと思うが、2日目となり雰囲気にも慣れて討議にも熱中できた。N-9
- ・ カンファレンスのロールプレイだったが、ロールプレイの内容に対する討議ではなくそれとは別に症例自体に対する討議になっていたように思えた。P-1
- ・ ロールプレイをこれから重ねていけばもっと良くなるのではないかと思います。他の職種別の研修会でトレーニングした人達がこの研修会でトレーニングするといった形が良いと思います。P-2
- ・ カンファレンス場面のロールプレイは難しいと思います。患者役がいるロールプレイの方がやりやすいです。P-3
- ・ 1日目と同じく内容は難しかったです。私の知識不足でした。P-4
- ・ ロールプレイの中に職種間でのやりとりがもっと見たかった。症例報告との違いがもっと出ることに期待したい。P-5
- ・ チームカンファレンスの場面はロールプレイには合わないと感じました。症例報告とした方が情報が多く共有できると思います。その上で場面設定をし、チームの誰かを指名してロールプレイしては・・・？ P-6
- ・ 3と同様に事例について「考える」ことで多くの知識や情報を得ることができた。1日目と方法が違うので2日目にダレてしまうこともなく良かった。W-1
- ・ ロールプレイというより、模擬カンファレンスに近かったように思います。症例をRPするより、運営側でケース事例を提示して頂いてDr、Ns、薬剤師、福祉職、心理職がどう関わるかのRPが良かったかもしれないです。W-2
- ・ ロールプレイ後の討議の時間がもう少しあればと思いました。言葉を探している間に時間がなくなってしまったという場面もあり全員の意見が聞けなかった。W-3
- ・ 検討場面がカンファレンスということもあり演じるのが難しかった。実際に関わったスタッフが不在のチームでの検討は効果があるのか疑問だった。W-4
- ・ チームカンファレンスをロールプレイするのはおもしろかった。W-5
- ・ 心理、ワーカーは1例だけ討議の時別々に話したが、その事に関心のある面を主に話せてよかった。C-1

- ・ 各職種がどういう役回りをもっており、どんなことを期待され、それにどう応えていくかが、ロールプレイを通して、その後のディスカッションで検討できたのが良かった。C-2
- ・ ロールプレイを見たり実際にすることによって課題が見えてくることを知りました。C-3
- ・ ロールプレイの討議というより事例検討（ケース理解）のようだった。C-4
- ・ 4症例は多すぎた。2症例程度に絞って、じっくり討議した方がよかった。来年もこの形式は続けたい。C-5
- ・ ロールプレイの設定を変えた方がいいと思います。他-1

5 次回の研修内容にとくに望むこと（職種別，順不同）

- ・ MSWや臨床心理士の方が、実際にどのように各 HIV 患者に接し、話しをされているのか具体的な事例を通して学びたい。D-2
- ・ 若手を中心としてみては？D-3
- ・ HIV 支援団体の人達の悩みを聞いてみたい。D-4
- ・ 医療者向けに「人間の心理と行動」についての総論的な講義をして欲しい。D-5
- ・ 症例討議はもう少し少ないにやるといいなと思いました。数でなく質を up できれば・・・D-6
- ・ Concept は good です。D-7
- ・ ロールプレイを行うのなら、実際の症例でなくてもよいのでポイントを絞って「この場面」を決めて行った方がよいと感じました。D-8
- ・ 多職種が集まる研修は貴重だと感じました。是非続けて頂きたいと思いました。N-1
- ・ 是非来年も継続して欲しい。N-3
- ・ 社会資源の活用がプライバシー保護にどこまで浸透しているのか疑問が多いのでその点を学習したい。N-4
- ・ 各職種を交えての研修で更にチーム医療、他病院連携がとれると思います。継続していただきたい。N-5
- ・ 今回と同様に症例検討をお願いします。N-6
- ・ 今回のような方法もとても研修になると思う。症例数をもう少し少なくして時間をかけてもよいのではないのでしょうか？N-9
- ・ ぜひ、来年度も開いてください。P-2
- ・ 症例検討が有意義であったので、多職種の場合はロールプレイよりそちらに重点をおいた方がやりやすいと思います。P-3
- ・ もう少し経験の浅い受講生にも理解できる内容にさせていただくかもしくは別の会を設けるなどしていただけたらと思います。P-4
- ・ ロールプレイの中で、チーム医療だからこそ‘生まれるもの‘をもっと期待する。P-5
- ・ チームを一セットとして多くの病院が集うことに大変意義があったと思います。今後も続けていければお互いのレベルアップと連携を深められると思います。

P-6

- ・心理職と福祉職を分けてそれぞれの立場の意見をもっと聞きたかった。W-1
- ・2回目～と続けて行って頂きたいです。薬剤師さんがどのように関わっておられるか等、職種によって背景への着目が異なることが分かる機会になると思います。W-2
- ・討議する時間がもう少し欲しいと思います。W-3
- ・ロールプレイは対患者の場面の方がよいのではないかと。事例報告、討議の時間がもう少し長い方がよい。W-4
- ・多職種1チームで各病院から来てもらう方法がよいと思う。W-5
- ・各チーム心理もワーカーも1名ずつ呼べるといいと思います。院内に心理がいなければ各県内の派遣カウンセラーに来てもらってはどうか。C-1
- ・今回は福祉職と心理職が一緒のグループであり、それはそれで勉強になったのですが、やはり、福祉職と心理職が別々のグループだともう少し各々の専門性について話したかったのではないのでしょうか。C-2
- ・一日目も二日目もとても濃い内容だったと思います。1つの事例について時間をとって討議してみるのもしてみたいです。C-3
- ・チームでどのように取り組んだのか、役割等が見えやすいので次回もチームで参加する形式がよいなあと思いました。C-4
- ・ゲストにコーディネーターナースに加え、リエゾン精神科医を迎えたい。次回の会場は倉敷か岡山で。C-5
- ・こういう研修が続けられて、一つでも多くの病院が参加するようになればいいと思います。他-1

6 宿泊や食事について（職種別，順不同）

- ・ネットが使えるホテルを希望します。D-1
- ・宿泊、食事ともよかったです。できればシングルルームがいいのですが。D-2
- ・ツインは落ち着かないと思う。D-4
- ・良いです。D-5
- ・とても良い環境でした。D-6
- ・部屋のタバコのおいが強かったです。D-8
- ・良かったです。N-1
- ・食事は good です。部屋は自費を出しても良いのでシングルにしてほしい。N-2
- ・食事は夕食が少なかった。N-3
- ・宿泊はできれば一人一人が良かったかと思いましたが。夜遅くなりもう一人の方に迷惑？かも・・・。N-4
- ・満足でした。N-5
- ・宿泊はできれば個室にしてくださいの方がありがたいと思います。N-6
- ・知らない人と相部屋の経験がなかったので少し迷いましたが滞在時間も短く良い経験になりました。食事良かったです。N-7
- ・場所的には集まり易いところだと思います。食事はまずまず。N-8

- ・ 宿泊についてですが、かなり研修に集中するので、夜はシングルが落ち着くのではないのでしょうか？ツインは気をつかいます。N-9
- ・ できればツインルームではなくシングルルームが良かったです。P-4
- ・ 十分です。お気遣いなく。P-5
- ・ 大変良かったと思います。P-6
- ・ 快適でした。W-1
- ・ できればシングルがいいです。W-2
- ・ 良かった。W-3
- ・ 同室者の方と帰宅時間が異なり、かなり遅くなって帰宅したので寝ているところを起してしまいました。ツインよりはシングルをお願いできればと思います。C-2
- ・ もっとシングルの部屋を増やす。C-5
- ・ 食事はバイキングはどうでしょう？席が固定だと交流しにくい感じがしました。食事は少なすぎると思います。他-1

7 運営について（職種別，順不同）

- ・ よく運営されておりました。D-2
- ・ ご苦労様でした。D-3
- ・ 1日のスケジュールの方が良いのではないかと思った。土・日ともつぶれるとつらいです。D-4
- ・ 問題ありません。次回は「後継者・・・」もターゲットになるかもしれませんね。D-5
- ・ うちのチームで新しい兒玉ファンが誕生しましたよ。D-6
- ・ 少し事前準備が足りない印象でした。（役割分担が明確化されずとまどうスタッフも多かった）D-7
- ・ 施設数、参加人数は今日以上の数だと運営が困難と思いますので今日ぐらいでよいです。D-8
- ・ 宿泊にした方がゆっくりできるので遠方の方にはよいかと思いますが、一日研修でも良かったかもしれないと思いました。N-1
- ・ とても暖かい雰囲気良かったです。N-2
- ・ とても気持ちがいい受付の人だった。スタッフの方も配慮が行き届いていた。N-3
- ・ 中核拠点病院の持ちまわり制もその環境等を知る事になるかと思います。チームでの参加は職場内の連携にも役立つと思う。N-4
- ・ 所属、職種が違っていてもよくまとまって運営されていたと思います。ありがとうございました。N-5
- ・ 研修会開催にあたり広島県臨床心理士会および広島大学病院の協力スタッフの方に大変お世話になりありがとうございました。N-6
- ・ スタッフの方に良い研修を開いていただき感謝です。ありがとうございました。N-7
- ・ 各職種ごとにスタッフが配置されていて話し合いの進行役と発表役をしてもらえたので、ずいぶん気楽に意見、質問できました。N-8

- ・ 大変良かったと思います。お疲れさまです。P-6
- ・ 大変スムーズだったと思います。W-1
- ・ 「先生」を使わずに呼び合うというのは、なかなか難しいですね。W-2
- ・ ご苦労様でした。お世話になりました。W-3
- ・ 症例数が多すぎるのと、議論する点が定まりにくいので飽和してしまう点。W-5
- ・ 事務局やスタッフの方々には、大変なご苦労があったと思いますが、快適に参加できました。ありがとうございました。G-2
- ・ ありがとうございました。他-1

8 その他（職種別，順不同）

- ・ 医師のためには、何か診断と治療のトピックスをひとつレクチャーして良いのではないのでしょうか。例・急性感染症をめぐって D-5
- ・ お疲れ様でした。でも、是非2回目以降も継続して中核病院を支援してください。D-6
- ・ チームでの関わりチームカンファレンスの重要性を学ぶ貴重な研修でした。有難うございました。N-1
- ・ 初めて参加させていただきましたが、勉強になりました。ありがとうございました。N-2
- ・ とても有意義な時間を持てました。運営の方は第一回ということもあり、大変だったのではないかと思います。ありがとうございました。N-3
- ・ 是非継続して発展させて欲しい。他のスタッフにも呼びかけたい。N-4
- ・ 参加してすぐ外国の方（ポルトガル語）が来院されました。参考にさせて頂きまだ初期の対応ですが参加スタッフあまりあわずスタートしました。本当にありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。N-5
- ・ それぞれの職種の方の立場を尊重され、認め合うことができていると感じられました。うれしかったです。N-8
- ・ とても勉強になりました。ありがとうございました。今回のような研修を続けていただけたらスタッフ育成に役立ちます。N-9
- ・ 患者の心理を考える今回のテーマ興味深く参加できたこと感謝します。ただ、自らの経験不足、勉強不足から専門性をもった意見が出せない自分に問題があり責任を感じます。P-5
- ・ お世話になりました。今後ともよろしくお願い致します。P-6
- ・ 研修を通して、研修会で多くの方々から勉強させていただいた事も、もちろんですが、自分の病院のチームで事前に協議し、情報共有する機会を得ることができて大変良かったです。ぜひ、継続していただければと思います。ありがとうございました。W-1
- ・ 他の職種が、どう考えてPtに関わっているかということが、チームで参加して、少し見えてきた気がします。これからもチームで参加できる研修があると良いと思います。W-2
- ・ ありがとうございました。W-4

- ・ 良い研修会だったと思います。初めての試みで準備も進行も大変だったと思います。ありがとうございました。C-1
- ・ 大変お世話になりました。いろいろ有難うございました。C-3
- ・ NPOも入られればと思います。個人的には反省しています。他-1